

ボランティアアフエスティバル

(9月29日)



救命救急を体験

第26回ボランティアアフエスティバルが「少しの勇気で大きな笑顔」をテーマに、北部シルバニアで開かれ、たくさんの方でにぎわいました。

今年58団体が参加。手話や点字、ものづくりなど、10カ所の多彩な体験コーナーのほか、吹奏楽団に手話研究会と聴力障害者が加わった演奏などの催しを展開して、訪れた多くの来場者に福祉活動の大切さをアピールしていました。

五色湖まつり

(10月6日)

第22回五色湖まつりが山瀬ダム多目的運動広場で開かれ、たくさんの方でにぎわいました。

好天に恵まれた会場では、ミニSSLやジグソーのつかみ取りのイベントが催され、参加した子どもたちは笑顔いっぱい楽しんでいました。

来場者は赤や黄色に色付き始めた山々を眺めながら、五色湖に訪れた秋を満喫していました。

大人気のミニSSL



交通安全啓発運動

(9月30日)



安全運転を呼びかけました

「交通事故ゼロ」を目指す日」に合わせて、交通安全母の会などによる街頭指導活動が市役所前の交差点で行われました。

参加者は、交差点で停車中の運転手に「交通ルールを守ってくださいね」と声をかけながら、啓発チラシやキーホルダー型の反射材を手渡し、交通安全と事故防止を呼びかけました。

ゴスペル音楽祭 in 大館2013

(10月12日)

大館ゴスペルクワイヤ・ジョイフルシンガーズが主催する「ゴスペル音楽祭 in 大館2013」が、市民文化会館で開かれました。

県内外から10団体が出演したほか、日本のゴスペルシンガーズの第一人者である亀淵友香さんが特別出演し、出演団体や観客に歌の指導を行いました。

出演者は、来年の国民文化祭の成功とゴスペルの更なる盛り上げを願って、力強い歌声を響かせました。



観客を魅了しました

本場大館ぎりたんぼまつり

in 大館樹海ドーム

(10月12、13、14日)

昨年から樹海ドームに会場を移し、今年は3日間にわたり行われた本場大館ぎりたんぼまつり。時折強い雨に見舞われましたが、合間には青空が顔をのぞかせ、開会式前から入口付近には入場待ちの長い列ができていました。

主会場の樹海ドームアリーナでは、本場大館ぎりたんぼゾーンや創作たんぼゾーン、大館市外きりたんぼゾーンでたんぼが販売されたほか、屋外では恒例の一万本焼きが行われ、3日間で約6万食が売り上げられました。

また、ステージでは郷土芸能やコンサートなどの多彩な催しがまつりに華を添え、約11万6千人の来場者に、大館の食と文化を堪能していただきました。

チャレンジキッズマーケット

